文書番号

　年　　月　　日

　福井県知事　　　　　　　　様

○○病院長　○○　○○

特定地域医療提供機関の指定申請について

　良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律（令和３年法律第49号。以下「改正法」という。）附則第５条の規定により改正法第３条の規定による改正後の医療法（昭和23年法律第205号。以下「医療法」という。）第113条の規定により、別紙のとおり申請する。

１．開設者

|  |  |
| --- | --- |
| 住所（法人であるときは主たる事務所の所在地） | ふりがな |
|  |
| 氏名（法人であるときはその名称） | ふりがな |
|  |

２．指定を予定する医療機関

|  |  |
| --- | --- |
| 管理者の氏名 | ふりがな |
|  |
| 名　称 | ふりがな |
|  |
| 所在の場所 | ふりがな |
|  |

３．医療法第113条第１項の指定に係る業務の内容（該当する条項を○で囲むこと。）

第１号　救急医療

　第２号　居宅等における医療

　第３号　地域において当該病院又は診療所以外で提供することが困難な医療

４．【業務の内容が「第１号　救急医療」の場合記載】

年間救急車受入台数及び年間での夜間・休日・時間外入院件数

　　※前年１～１２月実績を基本とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 年間救急車受入台数 | 　　　　　　　　　　　　　　件 |
| 年間での夜間・休日・時間外入院件数 | 　　　　　　　　　　　　　　件 |
| 備考 |  |

５．地域に必要な医療提供体制確保のため、当該業務により医師をやむを得ず長時間従事させることが必要な理由

|  |
| --- |
| 例）当院は二次救急医療機関であるが、夜間には１日当たり○台の救急車を受け入れており、全時間帯での宿直許可の取得は難しい。○時から○時までに限定して宿直許可を取得したが、現体制では夜間宿直を○人の医師で対応しており、１処置につき○分の対応が必要であるため、医師１人当たり年間○時間の時間外労働が必要となっている。圏域内には他に二次救急病院がなく～であるため、～のために当院で救急医療を～することにより、必要な医療提供体制を確保する必要がある。　※具体的に記載してください。※業務の内容が「第３号　地域において当該病院又は診療所以外で提供することが困難な医療」の場合は、当該業務が「公共性と不確実性が強く働くものであること」または「特に専門的な知識・技術や高度かつ継続的な疾病治療・管理が求められ、代替することが困難な医療を提供するものであること」についても記載してください。 |

６．添付書類

　①　医師労働時間短縮計画（案）

　②　医療法第113条第１項に規定する業務があることを証する書類

　③　医療法第113条第３項第２号の要件を満たすことを証する書類

　④　医療法第113条第３項第３号の要件を満たすことを誓約する書類

（様式６）

　⑤　医療法第132条の規定により通知された法第131条第１項第１号の評価の結果を示す書類